

病虫害発生予察注意報第3号

令和2年8月20日
三重県病虫害防除所

1. 対象作物 : 水稻(普通期)
2. 対象病虫害名 : 斑点米カメムシ類(ミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、イネカメムシ、シラホシカメムシ類)
3. 発生地域 : 県内全域
4. 発生時期 : 8月下旬～9月中旬
5. 予想発生量 : 多
6. 注意報発令の根拠
 - 1) 8月の巡回調査では、斑点米カメムシ類の圃場発生率は53.4%(平年値40.9%)と高く、20回すくい取り調査ではミナミアオカメムシが0.07頭(平年0.04頭)、クモヘリカメムシが1.01頭(平年0.92頭)、イネカメムシが0.14頭(平年0.02頭)、シラホシカメムシ類が0.12頭(平年0.08頭)と多い状況です。
 - 2) 直近1か月間(7月第4半旬～8月第3半旬)の予察灯での誘殺数はイネカメムシが松阪市で42頭(平年4.7頭)、クモヘリカメムシが紀北町で324頭(平年25.2頭)、御浜町で61頭(平年36.8頭)と平年より多い状況です。
 - 3) 1か月予報(8月13日・名古屋地方気象台発表)によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か少ないことから、斑点米カメムシ類の活動に好適な状況が続きます。
7. 防除上の注意事項
 - 1) 薬剤防除は穂揃い期に実施しましょう。斑点米カメムシ類は移動性が高いため、広域での一斉防除が効果的です。
 - 2) 収穫直前にあたるため薬剤防除は周辺の圃場への飛散がないように、また、収穫前日数に留意するなど安全使用基準を順守してください。薬剤については三重県農薬情報システム <https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie> で検索することができます。
 - 3) 草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内へ追い込み、加害を助長するので避けましょう。やむを得ず出穂前後に草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除に合わせて実施しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！